

和歌山市 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査

(就学児童保護者用)

調査ご協力をお願い

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

平成 24 年 8 月、国において「子ども・子育て支援法」が制定され、各自治体は 5 年を一期とする「子ども・子育て支援事業計画」を策定することになりました。

このため、事業計画策定に向け、本市においては市民の皆様の子育て支援に関する実態や利用希望・ご意見などを把握するため、小学生のお子さんの中から無作為に選ばせていただき、その保護者の方に「和歌山市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査」を実施することになりました。

この調査は、子ども・子育て支援事業計画を検討するための基礎資料とさせていただくもので、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用したりすることは一切ございません。子どもや子育てにやさしい豊かなうるおいのあるまちづくりに取り組むための重要な調査ですので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年●月 和歌山市

【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートにはお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに●月●日(●)までご投函ください。

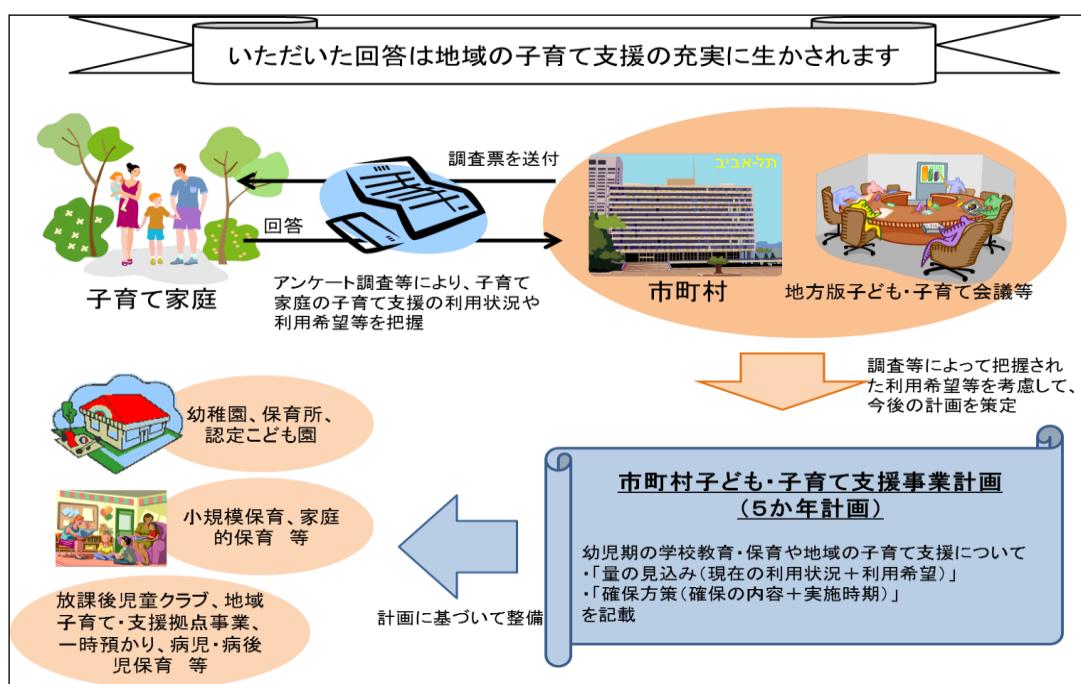
ご回答いただく上でご不明な点、調査に対するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

和歌山市 福祉局 こども未来部 子育て支援課
電話：073-435-1329

回答するに当たってお読みください

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教育：問1～問6、問11～問16までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問7～問10、問17以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についておうかがいします(★)

問1 お住まいの地区(中学校区)はどこですか。(○は1つ)

- | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 1. 日進中学校区 | 2. 伏虎中学校区 | 3. 東和中学校区 | 4. 西和中学校区 | 5. 城東中学校区 |
| 6. 西浜中学校区 | 7. 明和中学校区 | 8. 河北中学校区 | 9. 河西中学校区 | 10. 紀之川中学校区 |
| 11. 加太中学校区 | 12. 西脇中学校区 | 13. 紀伊中学校区 | 14. 高積中学校区 | 15. 東中学校区 |
| 16. 楠見中学校区 | 17. 有功中学校区 | 18. 貴志中学校区 | | |

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についておうかがいします(★)

問2 あて名のお子さんの性別と学年をご記入ください。

1. 男

2. 女

小学校()年生

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合、末子の年齢(平成25年4月1日現在の年齢)をご記入ください。

()人

末子の年齢()歳 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

1. 母親

2. 父親

3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

1. 配偶者がいる

2. 配偶者はいない

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方はどなたですか。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。(○は1つ)

1. 父母ともに

2. 主に母親

3. 主に父親

4. 主に祖父母

5. その他()

放課後の過ごし方についておうかがいします（★）

問7 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも。また、それぞれ希望する週当たり日数には数字でご記入ください。なお、「学童保育（若竹学級等）」の場合には、利用したい時間を、（例）18:00のように24時間制でご記入ください）

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 学童保育（若竹学級等）	週（ ）日くらい → 下校時から（ : ）まで ⇒ 問9へ
5. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
6. その他（公民館、児童館、公園など）	週（ ）日くらい

問8 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも。また、それぞれ希望する週当たり日数には数字でご記入ください。なお、「学童保育（若竹学級等）」の場合には、利用したい時間を、（例）18:00のように24時間制でご記入ください）

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 学童保育（若竹学級等）	週（ ）日くらい → 下校時から（ : ）まで ⇒ 問9へ
5. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
6. その他（公民館、児童館、公園など）	週（ ）日くらい

問9 問7または問8で「4」を選ばれた方におうかがいします。

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育（若竹学級等）の利用希望はありますか。（それぞれに〇は1つ。また、希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9:00～18:00のように24時間制でご記入ください）なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 (:) ~ (:)
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

(2) 日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 (:) ~ (:)
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

問 13-2 問 13で「3」または「4」を選ばれた方におうかがいします。

友人や知人にみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)

1. 友人や知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人や知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人や知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問 14 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。(〇は1つ)

1. いる/ある ⇒ 問 14-1 へ
2. ない

問 14-1 問 14で「1」を選ばれた方におうかがいします。

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(〇はいくつでも)

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設(地域子育て支援センター)・NPO
5. 保健所・保健センター
6. 小学校教諭
7. 学童保育指導員
8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師
10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. その他 ()

問 15 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

あて名のお子さんの保護者の就労状況についておうかがいします (★)

問 16 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。（○は1つ。また、該当する枠内には数字でご記入ください。時間は、（例）18:00のように24時間制でご記入ください）

※就労日数や就労時間、出発時間、帰宅時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

(1) 母親【父子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している（フルタイム*；産休・育休・介護休業中は含まない）
 - 1週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間など
**【 1週当たり（ ）日 / 1日当たり（ ）時間
 出発時間（ : ） / 帰宅時間（ : ） 】**
 2. 就労している（フルタイムだが、産休・育休・介護休業中）
 - 1週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間など
**【 1週当たり（ ）日 / 1日当たり（ ）時間
 出発時間（ : ） / 帰宅時間（ : ） 】**
 3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
 - 1週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間など
**【 1週当たり（ ）日 / 1日当たり（ ）時間
 出発時間（ : ） / 帰宅時間（ : ） 】**
 - フルタイムへの転換希望がありますか。
**【 ① 希望があり、実現できる見込みがある ② 希望はあるが、実現できる見込みがない
 ③ パート・アルバイト等の就労の継続を希望 ④就労をやめて子育てや家庭に専念したい 】**
 4. 就労している（パートタイム・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中）
 - 1週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間など
**【 1週当たり（ ）日 / 1日当たり（ ）時間
 出発時間（ : ） / 帰宅時間（ : ） 】**
 - フルタイムへの転換希望がありますか。
**【 ① 希望があり、実現できる見込みがある ② 希望はあるが、実現できる見込みがない
 ③ パート・アルバイト等の就労の継続を希望 ④就労をやめて子育てや家庭に専念したい 】**
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまでに就労したことがない
- } ⇒ 問16-1へ

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

(2) 父親【母子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している（フルタイム；産休・育休・介護休業中は含まない）
→ 1週当たりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間など。
【 1週当たり（ ）日 / 1日当たり（ ）時間
 出発時間（ ）：（ ） / 帰宅時間（ ）：（ ） 】
 2. 就労している（フルタイムだが、育休・介護休業中）
→ 1週当たりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間など。
【 1週当たり（ ）日 / 1日当たり（ ）時間
 出発時間（ ）：（ ） / 帰宅時間（ ）：（ ） 】
 3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 1週当たりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間など
【 1週当たり（ ）日 / 1日当たり（ ）時間
 出発時間（ ）：（ ） / 帰宅時間（ ）：（ ） 】
→ フルタイムへの転換希望がありますか。
【 ① 希望があり、実現できる見込みがある ② 希望はあるが、実現できる見込みがない
 ③ パート・アルバイト等の就労の継続を希望 ④就労をやめて子育てや家庭に専念したい 】
 4. 就労している（パートタイム・アルバイト等だが、育休・介護休業中）
→ 1週当たりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間など
【 1週当たり（ ）日 / 1日当たり（ ）時間
 出発時間（ ）：（ ） / 帰宅時間（ ）：（ ） 】
→ フルタイムへの転換希望がありますか。
【 ① 希望があり、実現できる見込みがある ② 希望はあるが、実現できる見込みがない
 ③ パート・アルバイト等の就労の継続を希望 ④就労をやめて子育てや家庭に専念したい 】
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまでに就労したことがない
- } ⇒ 問16-1へ

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

問16-1 問16の(1)または(2)で、「5」または「6」を選ばれた方におうかがいします。

就労したいという希望はありますか。(それぞれに○は1つ。また、該当する枠内には数字でご記入ください。)

(1) 母親【父子家庭の場合は記載不要】

1. 子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番小さい子どもが、（ ）歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

(2) 父親【母子家庭の場合は記載不要】

1. 子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番小さい子どもが、（ ）歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

仕事と子育てについておうかがいします

問17 仕事と子育ての両立で困っていることは何ですか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 急な残業や休日出勤 | 2. 代わりに面倒をみる人がいない |
| 3. 家族の理解が得られない | 4. 職場の理解が得られない |
| 5. 他に面倒をみななければならない人がいる | 6. 子どもの預け先が見つからない |
| 7. 子どもと接する時間が少ない | 8. その他 () |

問18 仕事と子育てについてどのように考えますか。(〇は1つ)

- | |
|----------------------------|
| 1. 子育てもするが、なるべく仕事を優先したい |
| 2. 子育ても仕事も両立したい |
| 3. 仕事もするが、なるべく子育てを優先したい |
| 4. 子育てに専念するため、できれば仕事はしたくない |
| 5. その他 () |

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についておうかがいします

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものはありますか。(各サービスのA～Cのそれぞれについて、該当するものに〇)

	A 知っている		B 利用したことがある		C 今後利用したい		
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	わからない
①家庭教育に関する学級・講座	1	2	1	2	1	2	3
②思春期の健康電話相談・思春期教室	1	2	1	2	1	2	3
③学童保育(若竹学級等)	1	2	1	2	1	2	3
④こども総合支援センター	1	2	1	2	1	2	3
⑤子育て支援短期利用(ショートステイ)事業	1	2	1	2	1	2	3
⑥トワイライトステイ事業	1	2	1	2	1	2	3
⑦ファミリー・サポート・センター	1	2	1	2	1	2	3
⑧母子・父子・多子世帯の公的賃貸住宅への優先入居	1	2	1	2	1	2	3

問 22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）（用事の有無については、○は1つ。この1年間の対処方法については、○はいくつでも。対処方法の内訳の日数には数字でご記入ください）

1年間の対処方法		日数
1. あった		
ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった		（ ）泊
イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保育する事業）		（ ）泊
ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した		（ ）泊
エ. 仕方なく子どもを同行させた		（ ）泊
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた		（ ）泊
カ. その他（ ）		（ ）泊
2. なかった		

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についておうかがいします

問 21 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。（1週間の平均的な時間をお答えください。）また、その時間は十分だと思いますか。（それぞれに○は1つ）

(1) 母親

子どもと一緒に過ごす時間 （ ）時間

1. 十分だと思う	2. まあまあ十分だと思う
3. あまり十分だと思わない	4. 不十分だと思う
5. わからない	

(2) 父親

子どもと一緒に過ごす時間 （ ）時間

1. 十分だと思う	2. まあまあ十分だと思う
3. あまり十分だと思わない	4. 不十分だと思う
5. わからない	

問 21-1 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。（1週間の平均的な時間をお答えください。）

(1) 母親

（ ）時間

(2) 父親

（ ）時間

問 21-2 あなたの家庭の生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についてお伺いします。（それぞれに○は1つ）

(1) 現実

1. 仕事時間を優先	2. 家事（育児）時間を優先
3. プライベート時間を優先	4. その他（ ）

問24 あなたは、地域の子どもたちとの交流や活動をさらに活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

1. 活動に地域の人が参加する機会を増やす
2. 調整や助言を行う専門的なコーディネーター役が必要
3. 自治会など地域組織で、子どもや子育てについての活動に力を入れる
4. 市民を対象に地域活動を支援するボランティアの募集や養成をする
5. 市民を対象に地域活動を支援するNPOを育成する
6. 子どもにかかわる地域活動の情報を一元化する
7. 身近なところに、地域活動の拠点になる場をつくる
8. 子どもが意見を出し合い、子どもが中心になって行う活動を育成する
9. 障害がある子の参加を促進するなど、地域のすべての子どもが参加できるように配慮する
10. その他 ()
11. わからない

問25 子どもの健全育成や非行防止のために、どのようなことに力をいれるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 家庭でのしつけやこころの教育を充実する
2. 学校での生徒指導や教育を強化する
3. 学校や地域、行政、警察などが連携し、指導体制を充実する
4. 青少年が高齢者や大人など、地域の人びととふれあう機会をふやす
5. 青少年に及ぼす影響の大きい雑誌やビデオなどの販売、ちらし等を排除する
6. 万引きなどを防止するための管理体制を強化する
7. 青少年の非行防止・健全育成のための相談体制を強化する
8. その他 ()
9. 今のままでもよい

安全についておうかがいします

問26 子どもの安全を守るために、特に重要と思われることは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

1. 地域の交通安全活動の充実・強化
2. 歩行者や自転車のための交通安全施設(ガードレール・歩道)の整備
3. 地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪から守るための取り組み
4. 公園の遊具や安全性の確保
5. 不審者の進入防止など、学校の安全対策
6. 通学路や子どもの遊び場の安全対策
7. 犯罪にあいそうになった時の対応についての教育
8. その他 ()

